

## 熊本高専の寮 「国際棟」完成

合志市

熊本高専熊本キャンパス（合志市）の新しい寮が完成し、9月29日、同校で落成式があった。「国際棟」として10月から留学生と日本人学生約40人が共に暮らし、イベントを開くなどして学内の国際交流を後押しする。

寮は鉄筋コンクリート3階建てで、延べ床面積は約1500平方メートル。既存の寮は個室のみだが、国際棟はシェアハウス型で、1部屋に6、7人が居住できる。個室もあるが、学生同士が普段から交流しやすいようリビングを備えた。

式には学校関係者ら約40人が出席。同校の荒木啓二郎校長が「留学生を受け入れる場所がないことが課題だった。多彩なイベントを展開し、国際化を進めたい」とあいさつ。寮長を務める人間情報システム工学科5年の石山遼さん(20)が「日常的に留学生と接することで国際的な感覚を身に着け、視野を広げたい」と述べた。（深川杏樹）



熊本高専に新設された寮「国際棟」の1室。シェアハウス型で、リビングを備えた

合志市